

こんなとき、どうする？

例題 1

あなたは、数年前から認知症で寝たきりの状態になり、介護を受けているものと仮定します。

最近、徐々に食事を飲み込む力が弱ってきたため、少しの流動食でもむせることが増えてきました。このまま口からの食事を続けると、誤嚥性肺炎を起こす危険があるため、主治医から「胃ろう」による栄養摂取に切り替えることを提案されました。家族の間では、あなたに「胃ろう」をするか、しないかで意見が分かれています。



あなたなら、どちらを希望しますか？

- ☐ 胃ろうをして、長生きしたい
- ☐ 胃ろうはせず、リスクがあっても口から食べたい

その理由は？

.....

.....

.....

.....

例題 2

あなたは、以前から心臓の具合が悪くなっており、何度か入院もしたことがあるものと仮定します。

ある夜、自宅にいるとき急に呼吸が苦しくなり、意識を失って救急車で病院に運ばれました。対応した救急医は「心臓が弱ってきて肺に水がたまり、呼吸困難になっている。気管に管を入れ人工呼吸器を付けば生命は助かるが、回復して元の生活に戻れる可能性は低い」と説明し、あなたに人工呼吸器を付けるかどうかを、家族に「今すぐ」判断するよう求めました。家族は判断に迷っています。



あなたなら、どちらを希望しますか？

- ☐ 回復する可能性は低くても、人工呼吸器を付けて生かしてほしい
- ☐ 人工呼吸器は付けず、苦痛を取り除く処置だけして見守ってほしい

その理由は？

.....

.....

.....

.....

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは…

病気になった人の、将来の変化に備えるために、これから先の医療やケアの進め方を本人や家族、医療・介護関係者などが繰り返し話し合っ、共有する仕組みです。岡山県では、関係団体と連携してACPを実践する人材の育成に取り組んでいます。



岡山県ホームページでは、ACPについて分かりやすく解説した動画を公開しています。



令和8年9月改訂

いまの思いを伝えるシート

最期まで自分らしく ～伝えよう、あなたの思い～

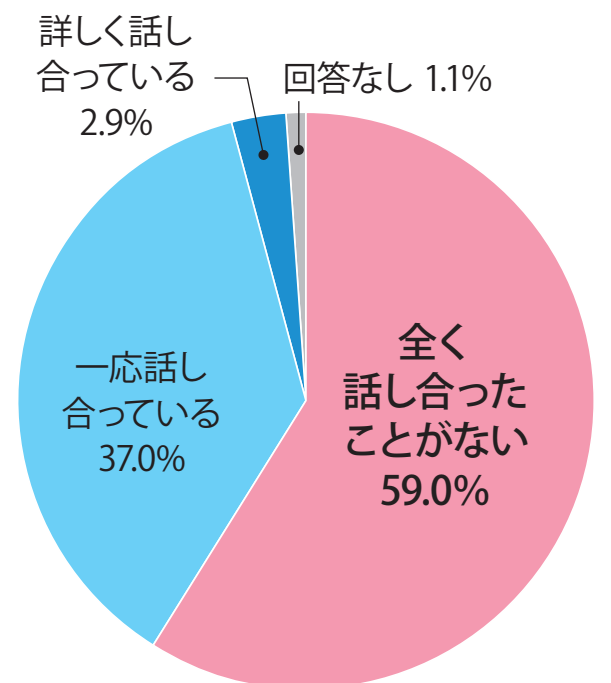
あなたは

人生の最終段階で

どんな医療を受けたいか、

自分の思いを伝えていますか？

令和7（2025）年に岡山県が実施した県民へのアンケート調査の結果では「自分の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、家族または医療介護関係者などとのくらい話し合ったことがありますか？」との問いに対し、半数以上の人々が「全く話し合ったことがない」と答えました。



「※令和7年度県民満足度調査同時調査結果より」

記入日： 年 月 日 お名前：

いざという時のため、将来の療養生活について考え、自分の思いを周囲に伝えておきましょう。

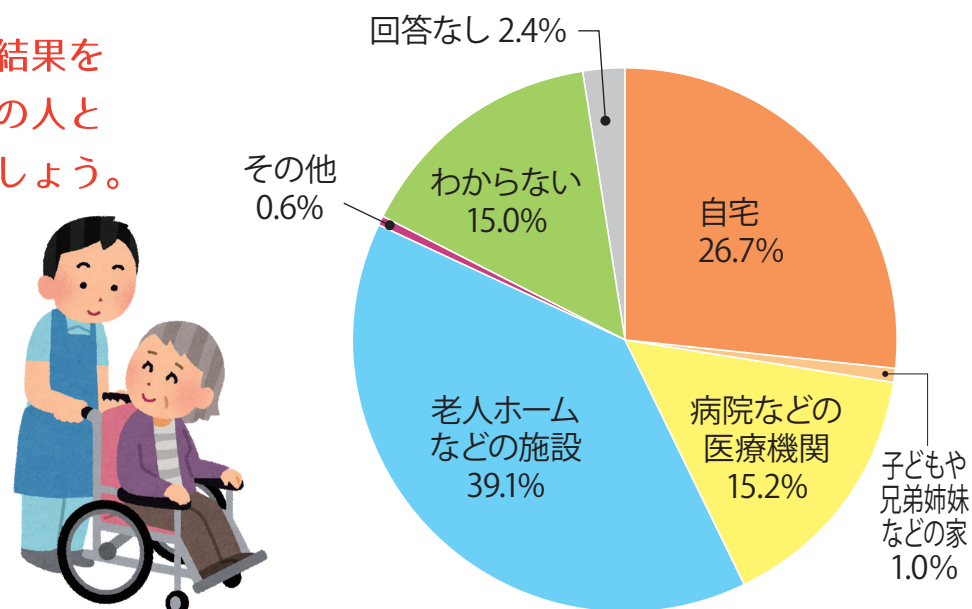
1

あなたが高齢となり、日常生活を送る上で介護が必要な状態になったとき、
どこで介護を受けたいですか？

- ☐ 自宅
- ☐ 子どもや兄弟姉妹などの家
- ☐ 病院などの医療機関
- ☐ 老人ホームなどの施設
- ☐ その他（具体的に：
- ☐ わからない

その理由は？

県民アンケートの結果を
参考にして、周りの人と
意見交換してみましょう。



「※令和5年度県民満足度調査同時調査結果より」

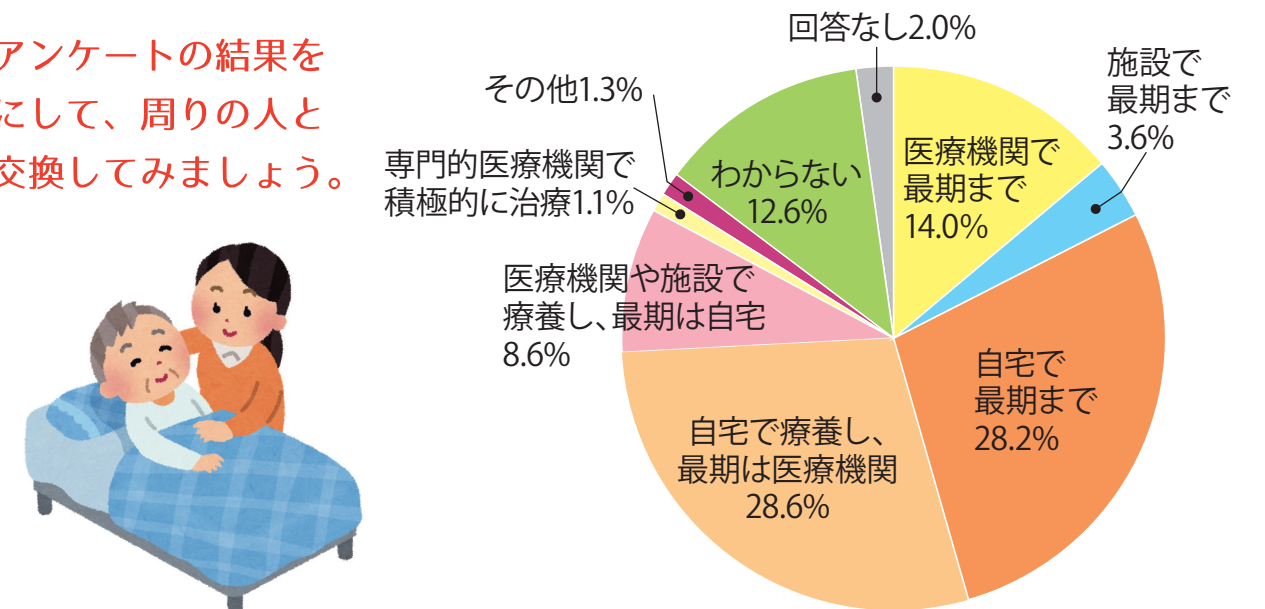
2

あなたの余命が残り少ない(6ヶ月より短い期間)と告げられた場合、
どこで療養し、最期を迎えたいですか。

- ☐ 医療機関で療養し、最期を迎えたい
- ☐ 老人ホームなどの施設で療養し、最期を迎えたい
- ☐ 自宅で療養し、最期を迎えたい
- ☐ できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい
- ☐ 医療機関や施設で療養し、最期は自宅で迎えたい
- ☐ 専門的医療機関(がんセンターなど)に入院し、最期まで積極的に治療を受けたい
- ☐ その他(具体的に: _____)
- ☐ わからない

その理由は？

県民アンケートの結果を
参考にして、周りの人と
意見交換してみましょう。



「※令和5年度県民満足度調査同時調査結果より」